

今後の協議会事業（案）

1 基本的な考え方（100周年記念事業推進プランより）

（1）基本理念

市制100周年が、千葉市に関わる全ての人々にとって、本市の都市としての成長の歩みを振り返り、先人たちの業績に感謝するとともに、本市が日本の中で果たしてきた役割やその価値を見つめ直し、これを如何に未来へ継承、発展させていくのかを考え、行動につなげていく機会となるように取組みを進める。

（2）基本方針

- ① 千葉市に関わるすべての市民・企業・団体を主体とする。
- ② すべての主体は、千葉市の歴史、文化、自然について、学ぶとともに、その固有の魅力を積極的に発信し、郷土への愛着と誇りを醸成する。
- ③ すべての主体は、現在の千葉市の状況を正しく理解をし、「郷土 千葉市」を未来へ持続的に引き継いでいくことができるように、本市の未来のあり様や担うべき役割について、主体的に考え、互いに連携しながら、行動をする契機とする。

2 記念事業の今後の予定

（1）市が実施する主な記念事業

- ・ 市政だより1月号 特集記事掲載（令和3年1月）
- ・ JR主要駅（千葉駅、蘇我駅、稲毛駅、新検見川駅、海浜幕張駅、都賀駅、鎌取駅）での横断幕や床張りの掲出（令和3年1月）
- ・ 100周年記念式典の開催（令和3年1月）
- ・ 千葉市の都市としてのあゆみを振り返り、様々なデータの分析、報告書・概要版の作成、配布（令和3年1月）
- ・ 市制100周年記念誌の作成、配布（令和3年1月）
- ・ 市制100周年記念漫画の発行（令和3年1月）
- ・ 絵画コンクールの実施（令和3年夏）

（2）10月以降実施の申請済認証事業

- ・ ザキューブホテル千葉：「市制100周年記念 宿泊プラン」実施
- ・ 森川建設株式会社：「土気停車場千葉中線擁壁築造工事」における看板等でのPR
- ・ 株式会社千葉センシティ：「センシティクリスマスツリー飾り付けコンテスト」でのPR

- ・千葉都心イルミネーション実行委員会：「千葉都心イルミネーション」での
P R

3 今後の協議会事業の方向性

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な分野の活動が停滞しており、かつ現在のところ終期が不明である。
これらのことから三密の回避など新しい生活様式を取り入れ、経済活動ともバランスの取れた事業を展開する。

(2) 記念事業の進め方

- ・新型コロナウイルスの影響を受け100周年の認知度はいまだ低いため、協議会構成員で連携し、あらためて認証事業を周知する。
- ・現下の状況を鑑み、この100年間の歩みを知り考える機会の提供に比重を置き、認知拡大、興味関心、理解促進といった段階に応じた事業を実施する。
- ・多くの市民がまちに出るような仕掛けとともに、記念事業実施者にもメリットが生じるよう工夫する。

4 協議会事業（案）について

（１）記念事業（基幹事業・認証事業）の積極的な実施及び周知の強化について

①事業内容

- ・協議会として、積極的に市制１００周年の周知を図り多くの市民や企業、団体の参加を促進するため、ポスターを制作し市内事業者等へ配布する。
- ・ポスター配付と合わせ、認証事業の周知及び参加の促進のため、認証事業の周知チラシを配布する。
- ・協議会から報道機関へ、市制１００周年の情報発信について依頼を行う。
- ・合わせて、ソーシャルメディアを活用するなど工夫した情報発信を行う。

②期間

令和３年３月～

基幹事業

市制１００周年記念事業は協議会及び協議会構成員が実施する取組みを基幹として、基本理念の達成に向けて推進

協議会構成員の皆様も、積極的に事業を推進するとともに、その内容を事務局まで情報提供をお願いします。

認証事業

市制１００周年を多様な主体による活動の機会とするため、協議会による認証制度を設置

- ・認証を受けた個人・団体は、「千葉市制１００周年記念」と表記やロゴマークやキャッチフレーズを使用
- ・事業は、市制１００周年の公式ホームページなどで情報発信
- ・認証にかかわる事務は、協議会事務局（都市アイデンティティ推進課）が処理

協議会構成員の皆様から、積極的に会員の皆様に周知をお願いします。

(2) 新型コロナ感染症を踏まえた「ちば・まち博」の実施について

①名称

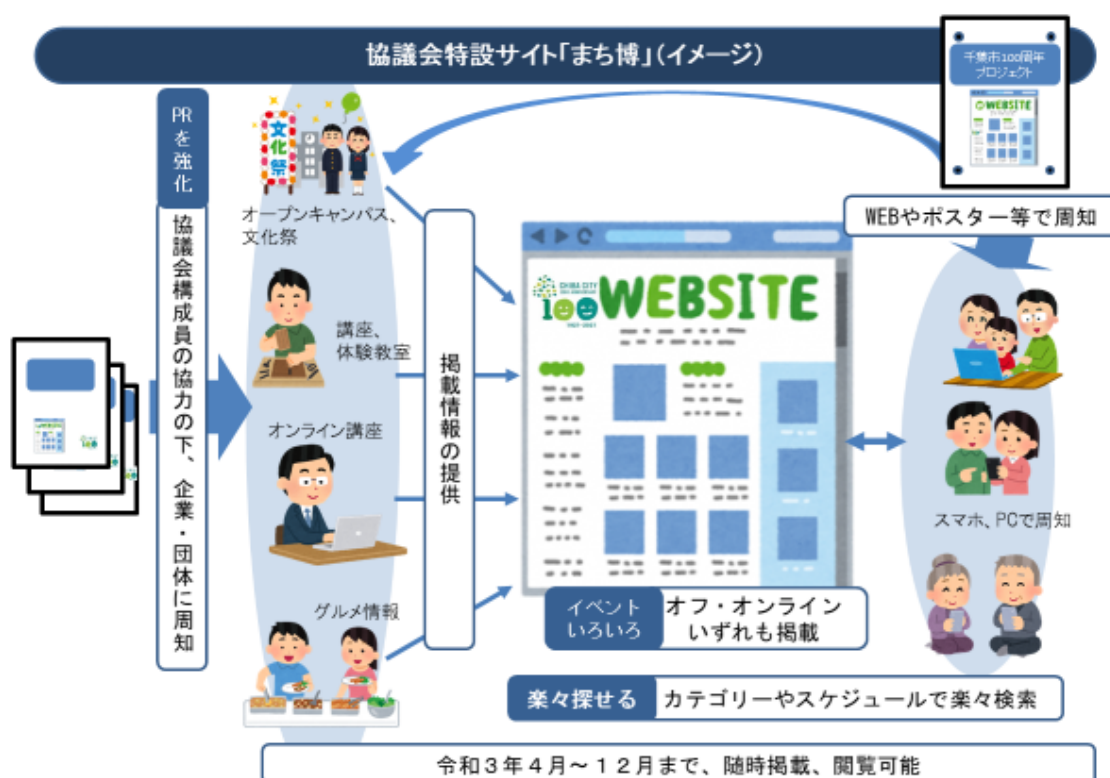
「ちば・まち博」(案)

②内容

- ・ポスター配付時の参加募集チラシ配付や、協議会構成員の協力により、市内事業所等にあらかじめ認証事業を周知し参加団体を募集する。
- ・協議会の特設サイト「ちば・まち博」を開設し記念事業の情報を集約する。
- ・紙媒体を情報発信のメインツールとするのではなく、サイトへの誘導手段とし、WEBサイトに情報を集約させることで、状況に応じた柔軟かつ最新の情報発信を可能にする。
- ・探したい情報にアクセスしやすいよう、特設サイト内でスケジュール・分野ごとに分かりやすく分類する。

③期間

令和3年7月～12月



(3) 100周年を振り返りながら市内を回遊することができる事業の検討

①内容

- ・子どもたちやその家族を中心に、幅広い世代を対象とする。
- ・実際に市内を回遊しながら、自らの知覚を通じて本市のこれまでのあゆみやまちの魅力や状況を理解する事業を実施する。
- ・協議会特設サイト「ちば・まち博」と連動し、他の記念事業との相乗効果の創出を目指す。
- ・屋外周遊型で参加希望者がそれぞれの都合に合わせバラバラに参加し、3密を回避する。

②期間

令和3年10月～12月

